

## Press Release

報道用資料

2006年10月31日

### 軽自動車の商品性魅力度調査で 三菱 i (アイ) が調査開始以来の最高得点で第1位獲得

#### 2006年日本軽自動車商品性評価(APEAL)調査

CS (顧客満足度) に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィック (本社: 東京都港区、代表取締役社長: 蓮見南海男、略称: J.D. パワー) は、2006年日本軽自動車商品性評価 (Automotive Performance, Execution and Layout、略称 APEAL) 調査の結果を発表した。

当調査は、軽自動車を新車で購入後 2 ~ 7 ヶ月が経過した個人ユーザーを対象に、軽自動車の性能やデザインなどに関する商品性魅力度に対する評価を調べるものである。評価の内容は「スタイリング/外装」、「エンジン/トランスミッション」、「快適性/利便性」、「内装/インパネ」、「オーディオ」、「乗り心地/ハンドリング」、「シート」、「空調関係」の 8 カテゴリー (ファクター) の 110 項目以上にわたる。

6 回目となる今年は 2006 年 7 月に郵送調査を実施し、2005 年 12 月から 2006 年 5 月の間に軽自動車を新車で購入した 3,164 人から回答を得た。調査対象となった車両は 7 メーカーの 35 モデルである。

#### 魅力度ランキング第2位はホンダ・ゼスト、第3位はダイハツ・ムーヴラテ

ランキングの対象となった 11 モデル中、三菱・i (アイ) が 723 ポイント (1,000 ポイント満点) で第 1 位となった。i (アイ) のスコアは調査開始以来最も高く、かつ第 2 位には 54 ポイントの大差をつけており、圧倒的優位でトップに立ったといえる。カテゴリー別の評価でも 8 カテゴリーすべてにおいて業界平均を上回ったが、さらに「快適性/利便性」を除く 7 カテゴリーにおいてはランキング対象モデル中最も高く、全方位で非常に高い評価を得る結果となった。

第 2 位はホンダ・ゼストで 669 ポイントを獲得した。今年 2 月に市場投入されたばかりの新規モデルだが、i (アイ) 同様 8 カテゴリーすべてにおいて業界平均を上回り、特に「快適性/利便性」ではランキング対象モデル中最も高い評価を得ている。

第 3 位にはダイハツ・ムーヴラテ (667 ポイント)、第 4 位には同じくダイハツのタント (661 ポイント) がランクインした。両モデルは「エンジン/トランスミッション」を除く 7 つのカテゴリーにおいて業界平均を上回った。またタントは「快適性/利便性」でゼストに並んで対象モデル中最も高い評価を得た。このカテゴリーでは昨年からの 2 年連続トップとなっている。これはタントの特徴がユーザーに評価され、その優位性が依然高く保たれている結果と言えるだろう。

第 5 位には日産・モコ (660 ポイント) が入った。今年 2 月にフルモデルチェンジを実施したばかりで、第 1 位の i (アイ)、第 2 位のゼストと同様に 8 カテゴリーすべてにおいて業界平均を上回っている。第 6 位以降にはダイハツ・ムーヴ、ホンダ・ライフ、ダイハツ・エッセが続き、以上 8 モデルが業界平均を上回った。

#### 新たなユーザー層開拓には、ユーザーの期待の理解と新たな商品魅力の創造が肝要

当調査では、ユーザーの総合的な魅力度評価に対する 8 つのカテゴリーの影響度を算出している (単位: %)。

各カテゴリーの影響度の高さは、ユーザーがモデルの魅力度を評価する際にどのカテゴリーをどの程度重視しているかを表している。

今年の調査では昨年と比較して各カテゴリーの影響度に変化は見られず、引き続き「スタイリング/外装」の影響度が最も高かった。次に影響度が高かったのは「エンジン/トランスミッション」で、「快適性/利便性」、「内装/インパネ」の順で続く。また昨年と同様、ランキング上位のモデルはいずれも「スタイリング/外装」で評価が高く、その上で各々の異なる強みによって商品の特徴を演出していることがわかった。

今回ランキング第1位の三菱・i（アイ）は、「スタイリング/外装」と「エンジン/トランスミッション」の両カテゴリーでもトップのスコアを得て他のモデルを引き離している。さらに「乗り心地/ハンドリング」でも優位に立った。

三菱・i（アイ）は、これまで軽自動車市場の主要な購買層ではなかった、高収入層や登録車からの乗替え層、さらには40代以上の中高年層などの比率が市場平均と比較して高く、新たなターゲット層からの支持を獲得している。軽自動車市場は販売台数面での好調が続く競争がますます激化しているが、そのような中、三菱・i（アイ）の取り組みは、商品の魅力についてユーザーが何を重視しているかを理解した上での意欲的なものと言えるだろう。

登録車を含め新車市場の大幅な拡大が期待できない昨今の市場環境下において、魅力度の点で他社より高いユーザー評価を得ることが重要なのは言うまでもないが、さらなる拡大を目指し新たなユーザー層の開拓を進める上においても、各メーカーはユーザーの軽自動車に対する期待とその変化を的確に読み取り、商品の新たな魅力を継続的に創造し続ける必要があるだろう。

<株式会社J.D. パワー アジア・パシフィックについて>

当社は米国J.D. パワー・アンド・アソシエイツの日本を含むアジア地域でのビジネスの拠点として1990年に設立された。自動車業界を始めコンピューター、通信関連、OA機器、サービス産業、金融など様々な業界において顧客満足に関する調査やコンサルティングを実施している。ISO9001 およびプライバシーマーク取得。会社概要や提供サービスなどの詳細は当社ウェブサイト [www.jdpower.co.jp](http://www.jdpower.co.jp) まで。

<J.D. パワー・アンド・アソシエイツについて>

ザ・マグロウヒル・カンパニーズの一部門である J.D. パワー・アンド・アソシエイツ（本社：米国カリフォルニア州ウェストレイク・ビレッジ）は、マーケティング・リサーチ、生産・販売予測、コンサルティング、教育・トレーニングおよび顧客満足度調査を実施している国際的な情報サービス企業である。数百万人の消費者からの回答をもとに品質や顧客満足度に関する調査を毎年行なっている。ISO9001 取得。

<ザ・マグロウヒル・カンパニーズについて>

1888年に設立されたザ・マグロウヒル・カンパニーズは、スタンダード&プアーズ、マグロウヒル・エデュケーション、ビジネスウィーク、J.D. パワー・アンド・アソシエイツなどを通じて金融サービス、教育、ビジネスに関する情報を提供している国際的な情報サービス企業である。世界38カ国に290カ所以上の拠点を有し、2005年の売上高は60億ドルにのぼる。詳細はウェブサイト [www.mcgraw-hill.com](http://www.mcgraw-hill.com) まで。

<当調査に関するお問い合わせ先>

(株) J.D. パワー アジア・パシフィック

コーポレート・コミュニケーション・グループ 川野、杉崎

住所： 東京都港区虎ノ門5-1-5 虎ノ門45MTビル（〒105-0001）

電話： 03-4550-8090

FAX： 03-4550-8151

e-mail： [cc-group@jdpower.co.jp](mailto:cc-group@jdpower.co.jp)

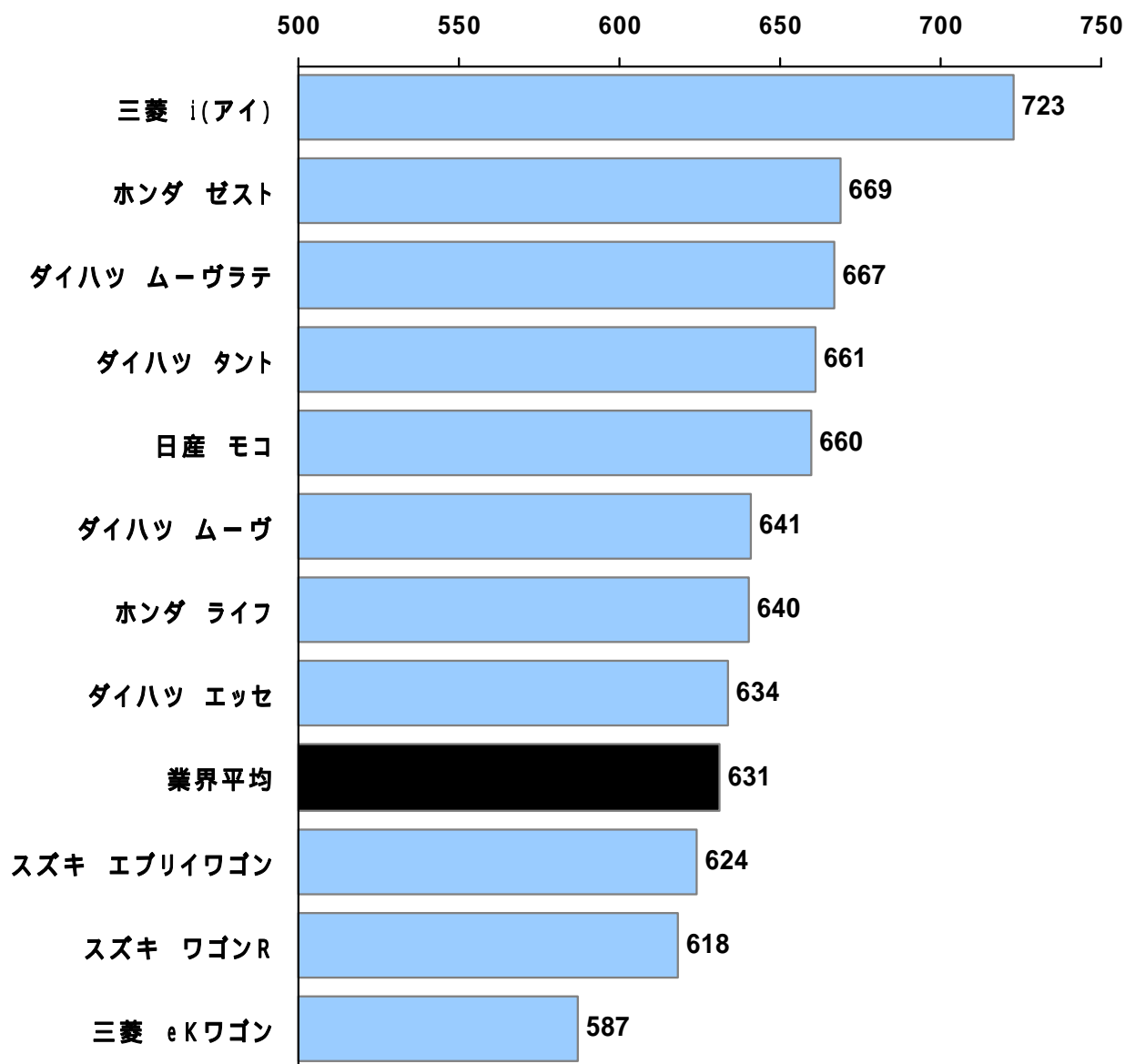
<ご注意>

本紙は報道用資料です。(株)J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く本資料に掲載されている情報および結果を広告または販促活動に転用することを禁止します。

# J.D. パワー アジア・パシフィック 2006年日本軽自動車商品性評価(APEAL)調査<sup>SM</sup>

## モデル別ランキング

(1,000ポイント満点)



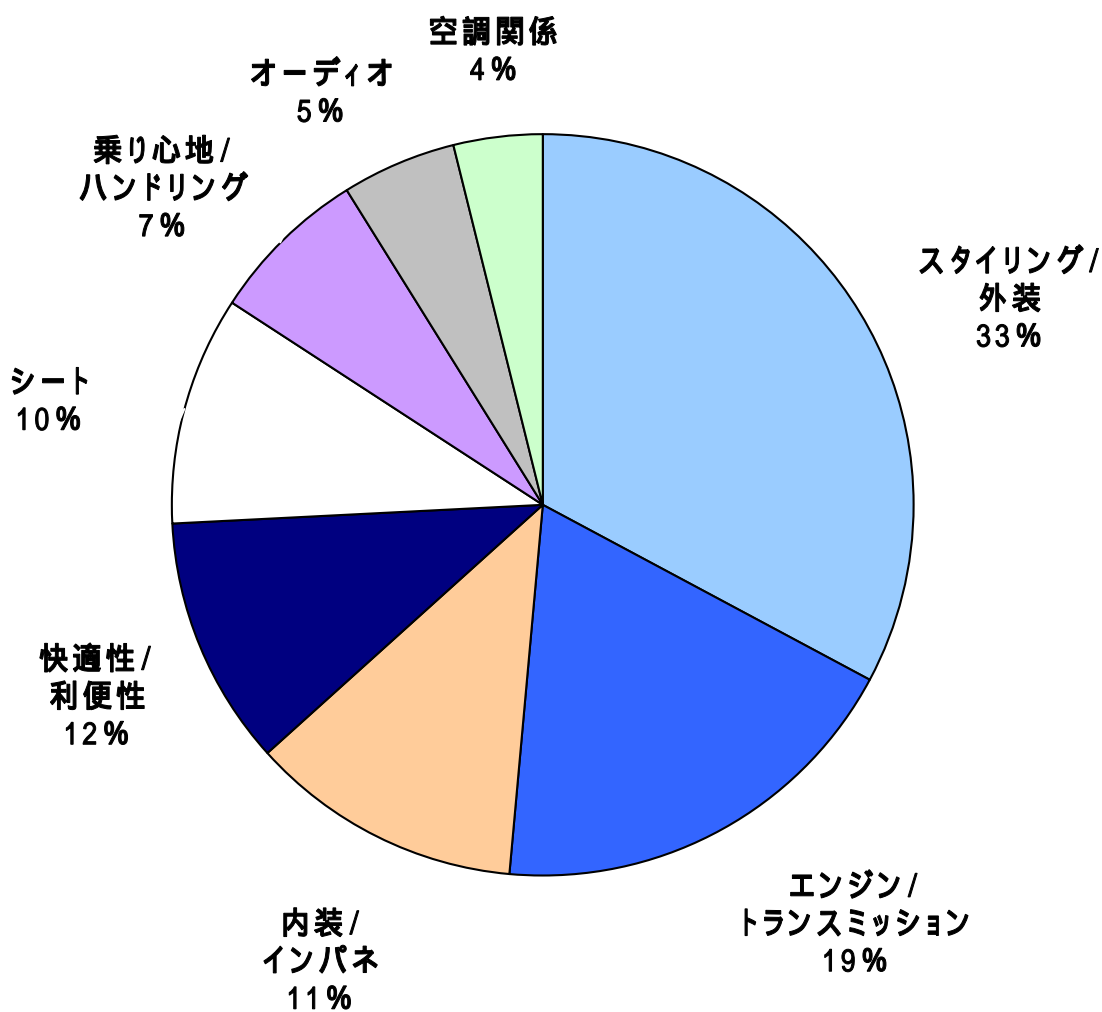
出典: J.D. パワー アジア・パシフィック 2006年日本軽自動車商品性評価調査<sup>SM</sup>

本紙は報道用資料です。J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告および販促活動に転用することを禁止します。

報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典(J.D. パワー アジア・パシフィック 2006年日本軽自動車商品性評価調査<sup>SM</sup>)を明記してください。

# J.D. パワー アジア・パシフィック 2006年日本軽自動車商品性評価(APEAL)調査<sup>SM</sup>

## 総合APEALスコアを構成するファクター



注)各パーセント値は端数処理されているため、合計が100にならないことがあります。

出典: J.D. パワー アジア・パシフィック 2006年日本軽自動車商品性評価調査<sup>SM</sup>

本紙は報道用資料です。J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告および販促活動に転用することを禁止します。

報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典(J.D. パワー アジア・パシフィック 2006年日本軽自動車商品性評価調査<sup>SM</sup>)を明記してください。